

◆企画名	学園祭
日程	平成23年11月5日(土)～11月6日(日)
場所	千里山キャンパス ITセンター前
参加者数	24名 (KUブリッジ12名、留学生12名)
目的	

- 1 留学生に参加を募ることで関西大学の行事への主体的な参加を促進する。
- 2 日本人学生・留学生同士の交流を深める。
- 3 KUブリッジの認知度を高める。

#### 内 容

学園祭で模擬店を出店してチヂミを販売した。当日の調理や販売はブリッジメンバーが担当し、留学生には宣伝補助を担当してもらった。残念ながら天候に恵まれずに2日間とも雨が降ってしまったが、参加してくれた留学生たちの積極的な宣伝の効果もあり、多くのチヂミを販売することができた。お昼頃になるとお店は大繁盛で調理が追いつかない程であった。1日目はライブやイベントが多かったため、大雨にも関わらず学園祭自体の来客数も多く、たくさんのチヂミを提供することができた。しかし2日目はそういったイベントも少なかったためか当初予定していた販売数を下回ってしまった。1日目は370食、2日目は170食で合計およそ540食を超えた。

#### 感 想

担当者の中に上回生がおらず、本当に上手くいくのか当日まで不安で一杯でした。しかし、当日になると詰めが甘いところや失敗はありましたが、沢山のお客さんが私達のチヂミを買いに来てくれて、ここまでやってきてよかったなと思いました。また、お手伝いの留学生やブリッジのスタッフからも楽しかったという言葉聞き嬉しかった。

#### 改善点

- ・企画書が始まったときからフィードバックまでの計画を立てておく。また、目先の予定は週の頭にリストアップするなどして明確にする。
- ・担当者間の連絡がとれるように、各々の予定を把握しておく。
- ・不明点があれば迅速に解決する。また、確認作業を怠らない。
- ・早期に調理、留学生などそれぞれの部門の担当者を決めておく。
- ・担当者間だけでなくミーティングで議論し、意見を取り入れる。
- ・概要や企画書など必要な書類は skydrive にあげて情報共有する。
- ・留学生へのケアを充実させる。今回のように宣伝を担当してもらった立場は立ちっぱなしの状態が続くので休憩や水分補給を考えておく。また、目配りを怠らないようにする。
- ・当日までに留学生の参加状況を確認しておく。詳細を送った後にも折り返して連絡してもらいようにするなどして、当日の急なキャンセルを防ぐ。
- ・特に当日は自分の作業で精一杯になりがちなので、落ち着いて状況を把握して場を客観視できる力をつける。そのために、事前準備に抜けがないように企画段階で当日のシミュレーションを行い、担当者が指示・管理できるようにする。また、担当者以外も積極的に行動する。